

ミューロンはドール・カーカム式と呼ばれる凹楕円主鏡と凸球面副鏡を組み合わせたカセグレンタイプの光学系です。

本来のカセグレン(クラシカルカセグレン)は凹放物面主鏡と凸双曲面副鏡の組み合わせからなる優れた光学系ですが、メーカー量産を考えた場合「精度の高い凸双曲面の研磨が困難」、「非球面同士の主鏡・副鏡の光軸調整が難しい」などの理由からコストアップにつながります。そこで、副鏡を比較的製作が容易な凸球面に変更し、それに応じて主鏡を凹楕円面にすることで互いの収差を補正したものがドール・カーカム式の光学系です。

凹楕円面主鏡の研磨も決して簡単ではありませんが、凸双曲面副鏡やシュミット補正板量産の困難さとは比較にならず、MTシリーズやεシリーズで培われた当社の球面研磨技術とゼロテスト検査法により精度の高い凹楕円面鏡の量産を実現して、コストパフォーマンスの高い製品となっています。

ドール・カーカム式は視野周辺像のコマ収差が大きいといわれています。しかし、天体望遠鏡の基本である眼視性能に主眼を置けば、眼に認められるコマ収差のサイズはさほど小さくなく、写真性能に関しても撮影対象が惑星ならば写角も小さいので実用上は問題ありません。また、星野写真撮影を行いたい場合は、コマ収差および像面湾曲収差を補正するμフラットナーレデューサー(別売)が用意されています。

ミューロンの主な特徴は、焦点距離に対して鏡筒長が1/3程度なので軽量短小化ができ、同口径・同焦点距離のニュートン式反射望遠鏡に比べて1クラス下の赤道儀に搭載することができます。

シュミット・カセグレン式望遠鏡のように筒先に補正板を必要としないために軽量で、しかも外気が直接筒内に入り込むので主鏡が短時間で外気温になじみ、安定した像が得られます。バッフルおよび副鏡フードの長さや直径、鏡筒口絞りやバッフル内の絞りの数、大きさ、位置などが綿密に計算され、見え味に悪影響を及ぼす迷光を完全にシャットアウトしていますので、コントラストの高いクリアな像となっています。

ファインダーは、鏡筒を持ち運ぶ時の取っ手として使えるように、十分な強度を持たせて鏡筒に固定されています。そのため、十字線の光軸調整は接眼シフト方式を採用しています。接眼シフト方式はファインダーの鏡筒を固定したまま十字線を接眼部ごと平行移動させる方式で、持ち運びなどの振動でも光軸が狂いにくく、一度合わせておけば再調整する必要はほとんどありません。

ミューロンは眼視性能に重点を置いて設計されています。特に焦点距離が長いので高倍率が得やすく、口径の大きさと相まって、惑星や月面の詳細観測に威力を発揮します。星雲・星団などの低倍率観測には、長焦点アイピースを使用すれば、集光力の大きさが活かされて、すばらしい光景が展開されます。その他、多彩な観測に対応できます。

月や惑星の拡大撮影には、眼視同様の優れた性能を発揮します。合焦時のブレをなくすため、μ-250・300は電動でピントを合わせます。



## μ-210

鏡筒価格：¥275,100 アリミジ(中) 付属

鏡筒	μ-210	μフラットナーレデューサー併用
形式	ドール・カーカム	焦点距離
有効口径	210mm	口径比
焦点距離	2415mm	イメージサークル
口径比	1:11.5	鏡筒径
分解能	0.55"	鏡筒全長
極限等級	13.4等	質量
集光力	900倍	ファインダー

専用アクセサリ

- ・μフラットナーレデューサー [KA70581] ¥31,080
- ・アリガタ 180mm [KP71423] ¥3,360 (鏡筒に付属)
- ・アリミジ(中) [KP71422] ¥16,380 (鏡筒に付属)
- ・汎用ラックピニオン接眼ユニット(50.8) [KA00705] ¥45,150

主なセット品(LE18mm 付属)

- ・μ-210UB3 [鏡筒, EM-11USD3 赤道儀, FC-M 三脚] ¥610,050
- ・μ-210BT2J [鏡筒, EM-11Temma2Jr. 赤道儀, FC-M 三脚] ¥665,700
- ・μ-210US3 [鏡筒, EM-200USD3 赤道儀, SE-M 三脚] ¥759,150
- ・μ-210ST2 [鏡筒, EM-200Temma2 赤道儀, SE-M 三脚] ¥845,250